

部首の名前と役目

漢字のほとんどが二つ以上の文字の組み合わせによってできている、ということをお話しました。この場合、その組み合わせ方にいろいろありますので、それについてひと通りお話しておきたいと思います。



左と右とに分けることができる場合、左の部分を^{へん}と言います。扁は、普通、その字が何に関係あるかを表

わしています。

- 亻 (人^{にんべん}扁) 人の意味 仕・休・作
- 王 (玉^{たまへん}扁) 玉の意味 球・珠・理
- 阝 (小里^{こざとへん} 崖^{がけ}扁) 崖の意味 陸・防・院
- 礻 (示^{しめすへん} 扁) 神の意味 神・社・礼
- 衤 (衣^{ころもへん} 衣類^{いるい}扁) 衣類の意味 初・複・補
- 忄 (立心^{りっしんべん} 扁) 心の意味 性・情・快
- 貝 (貝^{かいへん} 扁) お金の意味 財・貯・購
- 钅 (金^{かねへん} 金属^{きんぞく} 扁) 金属の意味 銀・銅・鉄

- 月 (月^{つきへん} 扁) 月の意味 臙・眇・眇
- 月 (肉^{にくづき} 月) 肉体の意味 腹・腸・脳
- 禾 (ノ木^{のぎへん} 稲^{いね} 扁) 稲の意味 稻・秋・種
- 犛 (獣^{けものへん} 扁) 獣類の意味 狩・犯・狂
- 巾 (巾^{はばへん} 布^{ぬの} 扁) 布の意味 帆・帽・幅
- 彳 (行人^{ぎょうにんべん} 扁) 道の意味 行・役・後
- 氵 (三水^{さんずい} 水) 水の意味 海・湖・波

同じ月でも、月の意味の時は“月^{つきへん}扁”と呼びますが、肉体のしるしの時は“肉^{にくづき}月”と呼びます。これは、もと肉だったのが、省略されて、月になったものです。このほか、月には、舟が省略されて月になったものもあります。これは、“舟^{ふなづき}月”ということになります。朕、前、朝の月がこれです。

ネとネとは、大変よく似た扁ですので、注意しましょう。意味の上では大変な違いがあります。

阝は“つくり”に用いられる「大里^{おおざと}」と同じ形なので、“小里^{こざとへん}扁”と呼ばれますが、意味は全く違いますので注意して下さい。崖という意味の部首なので、“崖^{がけへん}扁”と呼んだ方が良いのですが、昔から、“小里^{こざとへん}扁”

と呼ばれています。

なお、彳は“道扁” 氵は“水扁”、忄は“心扁”、巾は“布扁”と改めた方が分かりやすいと私は思っています。



右の部分は旁と呼ばれています。言葉としての性格的、基本的な意味と発音とを表わすことの多い、重要な部首です。第一章で解説された「兪・且・青・主……」

というような部首がこれです。

しかし、次にあげる部首は、その字が何に関係あるかを表わす部首で、これらの部首が旁に使われる字は、逆に扁が言葉としての性格的基本的意味や発音を表わします。

- 頁(大貝)頭の意味.....頭・顔・額
- 阝(大里)邑の意味.....都・郡・郷
- 彡(三旁)飾の意味.....形・彫・杉
- 隹(旧鳥)鳥の意味.....雄・維・難
- 刂(立刀)刀の意味.....判・別・創
- 力(力)努力する意味.....勤・動・励
- 欠(欠)口を開く意味.....歌・飲・吹

- 殳(ル又)武器を持つ意味.....殺・役・殴
- 夂(ノ文)鞭を持つ意味.....政・敦・牧
- 貝は、貝に似た字形なので、“大貝”という名前がありますが、意味は全く貝に関係がありません。鼻(自)を中心にした顔、または頭の意味の部首です。

阝は、扁の所で話しましたように“小里扁”と全く同じ形ですが、旁では“大里”の名の通り“町”という名の部首です。邑→阝の簡略化した形です。

隹は、鳥という今の字形に対して、古い字形という意味で“ふる鳥”と言います。

欠は、夂で、“あくび”が本義の字ですから“あくび”という名が付けられました。

欠と夂は、字形がよく似ていますが、意味が全く違いますので注意しましょう。



上と下とに分けることができる場合、上の部分は冠と言います。また、頭と呼ぶものもあります。扁と同じく、その字が何に関係あるかを表わすことが多い部首で

す。

- 宀^{うかんむり} (ウ冠) 家の意味.....家・安・客
- 穴^{あな} (穴冠) 穴の意味.....空・究・窓
- 艸^{くさ} (草冠) 草の意味.....草・花・英
- 竹^{たけ} (竹冠) 竹の意味.....筆・管・等
- 雨^{あめ} (雨冠) 気象の意味.....雲・電・震
- 𠂔^{はつがしら} (発頭) 両足をそろえた形.....発・登・突
- 耂^{おいがしら} (老頭) 老人の意味.....老・考・孝

下の部分は脚^{あし}と言います。沓^{くつ}と呼ぶこともあります。



次に拳げる脚は、その字が何に関係あるかを表わす部首です。

- 儿^{ひとあし} (人脚) 人の意味.....兄・光・先
 - 皿^{さら} (皿) 容器の意味.....盛・益・盟
 - 灠^{れんが} (連火) 火の意味.....照・熱・然
 - 小^{したごころ} (下心) 心の意味.....恭・慕
 - 水^{みず} (下水) 水の意味.....泰・求
- 連火は、火の変形で、点が連なっているので、“連火”と呼んだもの

です。“四つ点”と呼ぶこともあります。小は心の変形、氷は水の変形です。下心・下水の下は脚の意味です。



上から下に垂れ下がった形のものを、垂^{たれ}と言います。扁と冠とを合わせたような形をしていて、その働きも、扁や冠に似ています。その字が何に関係あるかを表わ

す部首です。

- 厶^{がんだれ} (雁垂) 崖の意味.....原・厚・圧
- 庌^{まだれ} (麻垂) 広い家の意味.....店・庭・府
- 疒^{やまいだれ} (病垂) 病気の意味.....病・疲・痛
- 戸^{とだれ} (戸垂) 戸の意味.....肩・房・扇
- 尸^{しかばね} (屍) 人の意味.....居・屈・属

扁と脚を合わせたように、左下の部分にわたるものを



遶^{たれ}と言います。その働きは垂と全く同じで、その字が何に関係あるかを表わしています。

- 辵^{しんによ} (進遶) 道に行く意味.....進・送・近
- 辵^{えん} (延遶) 遠く行く意味.....延・建・廷
- 走^{そう} (走遶) 走る意味.....起・越・趣

辶と廴は、旁を書いてから、これを書きますが、走は先に書いて、
旁をあとから書きます。



外側を囲むような形を^{かまえ}構と言います。「冂」や「匚」の
ように三方を囲んだ形、「勹」や「弋」のような垂に似た
形のものもあります。働きは、その字が何に関係あるか

を表わしています。

- 口(^{くにがまえ}国構)物を囲む意味.....国・団・囗
- 匚(^{はこ}箱構)箱の意味.....医・区・匿
- 門(^{もん}門構)門の意味.....問・聞・関
- 气(^き気構)蒸気の意味.....気・氛
- 行(^{ぎょう}行構)道の意味.....衛・術・街
- 戈(^{ほこ}戈構)武器の意味.....我・戒・或
- 弋(^{しき}式構)標識の意味.....式・弋
- 勹(^{つつみ}包構)包む意味.....包・勹・匆